

愛河

令和5年度
高雄日本人学校 学校だより
6月号

令和5年6月1日 TEL07-722-0537



◆ 校訓「高雄の子ども」 たくましい子 考える子 思いやりのある子 ◆

令和5年度の教職員が全員揃いました

台湾における就労ビザ取得の都合により、着任が遅れておりました4年担任 佐々木 渉（ささき わたる）教諭と5年担任 村上 雅彌（むらかみ まさや）教諭が、それぞれ5月15日（月）と18日（木）に着任いたしました。4月以降、オンライン授業等で子供たちの指導を行ってまいりましたが、関係の保護者の皆様にはご心配をお掛けいたしました。5月24日（水）には両教諭の着任式を行いました。4年生・5年生はもちろんのこと、全校児童生徒の嬉しそうな表情が大変印象的で、「高雄の歌」を歌い、お二人の先生方を歓迎しました。



二人の着任により、令和5年度のすべての教職員が揃いました。ALTグレッグ先生も含めて、総勢20名の職員構成となります。今後とも子供たちの確かな学力の定着と健やかな成長のため、全職員一丸となり教育活動を推進してまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



前期児童生徒総会

5月19日（金）前期児童生徒会総会が開催されました。この総会が開かれるまでに、各学級で総会資料を読み込んだり、総会のリハーサルを実施したり、総会に出席する小学5・6年生を中学生がサポートしたりするなど、児童生徒会本部役員が中心となって準備を進めてきました。その準備の成果もあり、本番では大勢の出席者がいる前でありながら、発言者ははっきりと大きな声で活動計画書を読み上げることができていました。また、出席者も活動計画に対する自分なりの意見を堂々と述べるなど、緊張感のある中で児童生徒総会が進行されていました。

さて、児童生徒総会資料の冒頭に、児童生徒会長の西川 拓仁さんから、次のような挨拶が掲載されていました。「児童生徒会とは、学校生活の向上、行事の活性化などを目的とし、先生方の指導や助言をもとに全員の自覚と協力によって自治を行います。この活動をとおして、将来社会人として社会に貢献できる資質を養うことを最終目標とします。自覚と責任をもって活動に取り組みしましょう。」（概要）

やはり『自治』という言葉が肝です。教師からの指示を待つのではなく、児童生徒自らの気づきと行動で生活をよりよくしていくことが、高雄日本人学校のますますの発展につながり、伝統となります。これからの児童生徒のみなさんの自治的で積極的な活動に期待しています。



校外学習・宿泊交流学习に向けて

高雄日本人学校では、校内での学習活動だけでなく、計画的に校外での学習にも取り組んでいます。

小学部

- ◇5月3日（水）3年生が社会科「学校のまわり」の学習として、学校周辺の店や施設を調べる町探検に出掛けました。すてきな探検マップが完成しました。
 - ◇5月18日（木）1・2年生が生活科「春探し活動」で、MRTに乗車して、衛武營都會公園に出掛けました。蝶々や小魚、エビを見つけて大興奮。身近にある自然にふれることができました。
 - ◇5月24日（水）2年生が生活科「町たんけん」に出掛けました。日頃から見慣れている街並みですが、じっくり見ると新しい発見がたくさんありました。
- 31日（水）、6月6日（火）にも同じ活動に出掛ける予定です。



中学部

- ◇宿泊交流学习＜6月7日（水）～9日（金）＞
阿蓮國中との文化交流、文化路夜市散策、台南市内班別研修など、内容盛りだくさんの宿泊交流学习を実施します。現在、生徒たちは文化交流で披露する日本の遊びや太鼓演奏の練習、グループ研修の活動計画づくりに取り組んでいます。活動が待ち遠しい様子で、どの生徒も大変意欲的に準備に取り組んでいます。



どの学習活動も、台湾・高雄ならではの活動です。しかし、大切なことは、「楽しい」だけでなく、「活動をとおして学びを得られているか」です。美しいものに感動する心、生き物を大切に作る心、課題を設定する力、まとめる力、発信する力など、活動をとおして様々な心情が育ち、学びの力が伸びていくよう、今後も本校の教育活動を推進してまいります。

避難訓練・引き渡し訓練

5月25日（木）、校内に不審者が侵入した想定のもと、避難訓練および保護者の方々へお子様を引き渡す訓練を実施しました。大変ご多用のところ、訓練にご協力いただき、誠にありがとうございました。今回は6年生の教室に不審者が接近したケースで訓練を実施しましたが、子供たちからは「緊張感があり、怖かった。」という感想が聞かれました。大変残念なことです。くしくも同日の25日、長野県長野市において小学校に不審者が侵入し、低学年児童が液体をかけられるという事件が起こっています。高雄日本人学校では、不審者の侵入を防ぐため、警備員と連携しながら校内巡視を行うなどの対策を取っています。それでも、100%安全とは言いきれません。だからこそ、今回のような避難訓練において、万が一を想定して真剣に訓練に取り組むことが肝要となります。「自分の身は自分で守る」ことの意識を子供たちに伝えつつ、今後も事件・事故が起こらないための安全管理体制づくりに努めてまいります。